

こどもたちが考えたお話で映画を撮ろう！

「こども映画教室〈中等クラス〉」は、監督、脚本、撮影、録音、出演、編集もすべてこどもたちが担当。自然に囲まれた“金沢湯涌創作の森”を拠点に、第一線で活躍する映画監督と一緒に映画制作を体験します。

今回の特別講師は、橋本愛&仲野太賀主演の『熱のあとに』を手がけた山本 英(やまもと あきら) 監督。

山本監督が考えたテーマをもとに、6人のチームで、お話しづくり、撮影、出演、編集、ポスター制作などの映画づくりに挑戦し、最終日には保護者の方や一般のお客さんの前で舞台挨拶と上映会を行います。

映画づくりに正解やマニュアルはありません。講師もサポートスタッフも、こどもたちの作品に「手出し口出し」をしません。小学生の子どもたちが主体となり夢中で映画を作ることで、自分たちにしか作れないオリジナルな映画が生まれ、たくさんの人に観てもらいながら、想像力やコミュニケーション能力など人間力を高めます。



■日時：2024年3月23日(土)～25日(月)
10:00～16:00 (最終日 18:30)

■会場：金沢湯涌創作の森、他

■対象：小学生(全学年)／定員：18名

■締切：3月8日(金) 23:59

※申し込み多数の場合は抽選となります。

※感染症対策の状況に応じて定員を減らす可能性があります。

■料金：15,000円

■持ち物：お弁当、水筒

■応募方法：こくちーずプロの申し込みフォームよりお申し込みください。

www.kokuchpro.com/event/kidskanazawa202203/



[金沢コミュニティシネマ]

▲応募はこちらから

申し込みフォームをご利用になれない場合は、参加者と保護者の方の氏名、学年、e-mail アドレス、電話番号を明記のうえ、FAX かメールでお申し込みください。(担当：上野)

FAX：076-220-5008

メール：kidskanazawa@gmail.com

「こども映画教室 in 金沢 2022 年度〈中等クラス〉」のワークショップのご参加は原則としてお子さまのみです。(上映会には保護者の方もご参加いただけます。保護者(引率者)の方は、会場までの送迎をお願いいたします。

in 金沢 こども映画教室 中等クラス

今年の講師は

やまもと あきら
山本 英 監督



1991年生まれ、広島県出身。東京造形大学卒業後、映像制作会社で働く傍ら広島に住む祖父を撮影した『回転(サイクリング)』(15)が第38回びあフィルムフェスティバルに入選する。その後、東京藝術大学大学院映像研究科に進学し、映画監督の諏訪敦彦、黒沢清に師事。修了制作の『小さな声で囁いて』(18)は第29回マルセイユ国際映画祭、第20回全州国際映画祭に正式出品された。商業デビュー作である本作は第28回釜山国際映画祭ニューカレンツ部門、第60回台北金马映画祭へ出品され、国外からも注目が集まっている。

個人情報保護方針

- お申し込み時にいただいた個人情報は、傷害保険への加入、今後の「こども映画教室」の活動に関するご案内の目的にのみ利用することとし、第三者への提供、その他の目的には使用いたしません。
- ワークショップにはスタッフ(主催者、共催者、協力者)のほか、マスコミの取材が入る可能性があります。
- ワークショップは、今後の参考のためにも実施の様態を写真、ビデオカメラなどで記録いたします。記録には十分に配慮いたしますが、参加者は全員映像に写る場合があることをご了承ください。
- 記録した写真・映像と作品は、新聞、TV、インターネットなどの媒体への提供で使用場合がありますので事前にご了承ください。

主催：金沢コミュニティシネマ 協力：一般社団法人こども映画教室
後援：金沢市教育委員会(予定)、北國新聞社(予定)

支援：金沢市、澁谷学術文化スポーツ振興財団

※金沢コミュニティシネマは金沢21世紀美術館【(公財)金沢芸術創造財団】、金沢フィルムコミッション、有限会社シネモンドから構成されています。



金沢21世紀美術館
21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

金沢フィルムコミッション
Kanazawa Film Commission

■雨天でも行います。■傷害保険は、イベント参加中の方が一事故による怪我の治療費等を補償するもので、参加者全員に加入していただけます。(保険料は参加費でまかさないです。)*都合により内容や日程を変更する場合があります。美術館の入り口で検温と手指消毒、マスク着用の確認を行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。